

2020年5月18日

全国市長会 御中

一般社団法人 全国保健師教育機関協議会
会長 岸 恵美子



新型コロナウイルス感染拡大に伴う採用試験への弾力的対応について（要望）

時下、新型コロナウイルス感染拡大防止対策にご尽力いただき心より感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症対策においては、住民への対応、感染確認者の観察等の業務が逼迫するなかで、今後も質の高い保健師の養成および確保が重要な課題であると考えます。保健師学校養成所の現状として、保健所、保健センター、企業、学校、地域包括支援センター等での臨地実習が全く実施できない、あるいは短縮・延期されるという状況が発生しております。

一般社団法人全国保健師教育機関協議会では、216の会員校である保健師学校養成所において、この新型コロナウイルス感染対応に追われながら、遠隔授業等も含めて様々な教育方法を検討し、質を担保した保健師教育の実施に奮闘している現状があります。この教育の運営・実施にあたり、会員校からは様々、困難点や相談事項等の課題があげられており、早急な対応が必要となっています。

これらの課題解決に向けて、当該学生が不利益を被ることがないように、下記について、貴会に所属されている自治体や企業等関係機関の皆様にご理解とご協力をいただけるよう、関係者への周知などを是非ともご検討いただきますようお願い申し上げます。

記

新型コロナウイルス感染症流行の影響から、本年度の採用試験が早まる、あるいは移動自粛が要請され、受験に行けないにもかかわらず試験が実施される等、採用試験に関する受験生の不安が生じています。学生が所属する教育機関の所在地とは異なる都道府県での就職を希望している場合など、指定された期日・方法で、採用試験を受験できない状況が発生しています。これらの採用試験の期日、方法等に関して、教育機関の所在地により不利益が生じないように、以下の弾力的な対応を是非お願いしたい。

- 1) 採用試験について、移動自粛にかかる受験機会の不平等や、WEB面接等での通信環境格差による不公平が生じないように、配慮いただきたい。
- 2) 説明会、見学会等が開催不能な状況で、それに代わる資料や説明の機会を確保いただきたい。
- 3) 健康診断書の提出を採用時に変更する等、受験時に必須としない配慮をお願いしたい。（通例4月に養成所において健康診断を実施し、健康診断書を用意するが、本年度は健康診断を実施できていない養成所が多数ある。今の医療の状況下で、受験生が個別に健康診断を受けることは医療機関の負担となる可能性が高い。）
- 4) 郵送物の配送に遅れが生じているので、採用にかかる書類の遅延等について、受験生の状況に応じて柔軟な対応をお願いしたい。
- 5) 遠隔授業により臨地での実習経験がないまま採用試験を受験する学生に、不利益が生じないように配慮いただきたい。